

第 171 回 福島県北地区障がい福祉連絡協議会定例会報告書(案)

日 時 2022 年 6 月 23 日(木) 10 時 00 分～12 時 00 分

場 所 ZOOM 利用によるオンライン開催

参加者 父の夢:國分 おおぞらの夢:岡崎 ボネール:谷野 ろんど:丸子 けやきの村本部:舟山 けやきの村相談:齋藤 けやきの村:菅野 静心園:齋藤 青松園:野地 なのはなの家:佐野 ぼけっと:吉田 手をつなぐ親の会福島:佐藤 ILセンター:長澤 大生信夫の里:木戸 旅行を考える会:孝浩 大萱荘:渡部 さらら:黒田

配布物 ①第 171 回定例会次第 ②第 170 回定例会報告 ③第 17 次アンケート素案 個人用・事業者用・市町村
④福島県立だて支援学校の見学について ⑤福島駅前再開発タウンミーティング記者発表文書
⑥福島駅前再開発タウンミーティング説明資料 ⑦社会福祉法人けやきの村地域貢献セミナー開催要綱

議 題

○福島障連協の会員の現状について
会員数:50

○報告事項

① 第 170 回定例会報告書について
訂正を要する箇所等なし。

○協 議

① 総会・行政説明について
意見・感想等なし。

② 第 17 次アンケート調査について(資料参照)

今回配布のものは 16 次アンケートのまま。ご確認いただき、変更を要する内容や誤りについて、お気づきの部分教えてほしい。

● 個人用アンケート P4 - 問 9 - (2) の質問文中、福島市内の福祉避難所数について“47ヶ所”となっているが、昨年 8 月 30 日時点で 49 ヶ所ということ。確認のうえ修正を要する。

③ 福島県立だて支援学校見学について(資料参照)

7/6(水) 10:00～11:00 で調整。定員は学校のコロナ対策の理由から 20 名上限。各会員に申込書配布し、人数調整を経て学校側に報告となる。締め切りは 6/30(木) 駐車場に限りあり、できるだけ乗り合わせが良い。

○伝 達

① けやきの村けやきの村地域貢献セミナーに関する告知(資料参照)

講師は、福祉活性化を専門にするコンサルタント。7/18 は就労系事業に向けた講義。7/31 は今後の展望について経営的視点からの講義。両日ともセミナー終了後、コンサルとの相談会を設定。両日 4 事業所限定につき先着順。早めの申し込みを。

② 福島駅東口再開発事業に関して(資料参照)

市民からの意見聴取の場として 6/5 にタウンミーティング開催されたということ。これについて、障連協 HP に個人からの問い合わせあり。

i) 障がい者の立場から意見を伝えたいが、そういった場面が今後あるのか。

ii) 出前講座に関しては団体を対象にしての開催形態らしいが、障連協として開催要請できないか。

※ もし、福島市として障がい者からの意見聴取の場を設けるならば、障連協を通して各個人に伝わるような手順を採れないか。当事者として参加する機会が欲しい…との意向。

☞ 現在のところ、出前講座(意見聴取の場)に関しては、障連協・手をつなぐ親の会はじめ各団体等に対する情報提供はなし。近く開催される“いきいき共生推進委員会”はじめ、各団体から、その開催について『要望』という形で市に伝える。

今回質問を寄せてくださった方にはその旨回答すると同時に、障連協としてもタイミングを見ながら、市に働きかけをしていく。

○情報交換

吉田[ぼけっと]

ぼけっと、えいど共に総会を終えた。

6/17 市役所の販売会に参加したが来場者少なく苦戦。翌 6/18 には「道の駅ふくしま」において“共生社会ふくしま…”主催の販売会に参加。販売 Tent 内に体験コーナーも併設され、クラフト体験スムーズだった。前半苦戦も、後半は遠方からの子連れ客がクラフト体験を楽しんでくれた。また参加したい。

6/13 バリアフリーツアーセンター総会開催。バリアフリーツアーセンターは、活動目的を一定程度達成できたことから、今年度いっぱい解散。年度内、集大成の意味を込め様々な活動を行っている。

谷野[ボネール]

総会(書面開催)を終えた。各議案の承認や意見など、現在集計中。体験希望者受入れから利用につながっている。また、だて支援学校高等部 3 年生の実習も受入れている。

販路拡大はコロナの影響等で厳しさがあるが、キャンオン福島工場に展示販売スペースが設けられ「ぼけっと」さんに続き、ボネールでも商品を納めることになる。

利用者の生活に関してその費用軽減のため、どの面からの支援ができるか。また高齢となり介護保険サービスの利用に移行するが、そこで担保されにくい“働きたい”という意思をどうサポートしていくかが事業所全体の課題として浮き彫りになってきている。

佐野[なのはなの家]

(感染状況の落ち着きにより)販売会の場面は増えている。

頭の痛い問題がいくつかあり、重複障がい(聴覚と知的)の方への対応や、応援スタッフとして手伝ってもらっている方とのコミュニケーションの問題、またコロナ感染・接触事例発生における事業所の開所・休業の判断などだ。

佐藤[手をつなぐ親の会]

5/31 の総会における行政説明の中、災害時の個別避難プラン作成に関する事業所参画の件(障連協総会にても福島市障がい福祉課から説明あり)や、障がいの選挙投票に関する選管・福祉課の今後の取組みなどの話が聞けた。選挙投票時など“ヘルプマーク”あるいは“ヘルプカード”などの携行を会員に周知するとともに、行政に対しては更なる(当事者・一般双方に向けた)周知を強く要望したい。

親の会の活動は、コロナ感染減少を受け、各種大会の企画が目白押しとなっている。

P.S. ふくしまユナイテッドFC トップチームトレーニング見学会(無料)の情報あり。チームの WEB サイトで確認できる。

齋藤[静心園]

コロナ関係 5 月初旬、幼稚園でのクラスター発生に伴う職員の感染・発症事例があった。幸い利用者には影響及ばず。他にも家族が濃厚接触で出勤できない職員が数名…という状況もあった。

行事は、これまで中止や人数を絞る対応だったが、今後は感染対策を講じながら施設全体で楽しめる方向を模索する。

7 月は食中毒に関する意識づけを徹底する。また職員の熱中症対策として、入浴や排泄支援時におけるマスク着用や水分補給等についてのガイドライン提示を考えている。

齋藤[けやきの村相談支援]

相談支援従事者の勉強会実施。障がい福祉課・基幹相談支援とともに企画している。今回から経験年数に応じて新任チームと現任チームに分け、それぞれに適した題材を用意して臨んだ。これら研修を通して相談支援員の質向上に繋げたい。

P.S. 飯坂湯野の不動寺において毎月第 1 土曜にオープンしている「いいざか子ども食堂 いっしょに」だが、地域共生推進委員の参加から、法人職員全員のボランティア参加に移行する。興味のある方は見学可。またツイッターやインスタグラムにも情報発信している。異字体(太字)のワード検索で見ることできる。

菅野[けやきの村]

コロナ感染の落ち着きを受け、面会・外出等の制限緩和を検討中。近く利用者・家族に周知の予定。“納涼盆踊り大会”は、コロナ対策として飲食の一部に制限を設け 8/4(木) 2 年ぶりに開催の方向。

6/18(土)共生社会ふくしま…主催販売会参加。来月は 7/16(土)

6/8 障がい福祉課よりコロナワクチン 4 回目接種の案内あり。接種の対象となる方や手順は従来と異なる部分があるので、よくご確認がよいか。

野地[青松園]

職員に感染者発生あり、それにより利用者は接触者となり PCR 検査実施。幸い陽性はなし。けやきの村同様、行事や外出等の制限を緩和する方向で検討中。

舟山[けやきの村法人]

6/9 共生社会ふくしま実現協議会総会開催された。昨年度活動の目玉は“いちい”での常設販売と“いきいき福祉マーケット秋まつり”であった。今年度活動の柱は、“道の駅ふくしま”における毎月のイベント・販売と、昨年実施を断念したスイーツコンテストを、仕切り直しということで実施したい。

道の駅における工作体験は、“障がいの理解”に大きく意義のあるものとなる。またスイーツ…は市役所西棟市民センターのカフェオープンに向けた周知の意味を持つ。同時に、事業所と地域の短大等の栄養学部門とのコラボレーションによる商品開発などにも繋げて行きたい。

更には“激務部会”を立ち上げ、高齢者宅の除草など地域との共益関係を持てる場面を創り、共生社会の前進に寄与するものとした。

“災害時要援護者避難支援連絡会”“要援護者の避難支援パッケージプロジェクト会議”等々、参画している会の協議結果については、この障連協定例会で皆さんと共有していく。

木戸[大成しのぶの里]

4・5・6月の主な動き。4月の花見は保原町の花見スポットで観桜、そこから“道の駅国見”で食事というイベントを行った。5月は外出イベントとして、“飯野町 UFO ふれあい館”へのドライブや、ドリームサッカー(サッカー日本代表 OB 対福島市選抜チームのゲーム 6/12 於とうほうみんなのスタジアム)の観戦などを実施。商品については、3棟あるハウスのトマト苗管理(苗きり)と植え付けに追われた。

“道の駅ふくしま”のオープンに合わせてトマトを納品でき、地産品ということで好評をいただいた。しかし、収量としては低く“いきいき福祉マーケット”での販売は断念した。

販売だけが目的ではなく、福祉や多様性の理解促進を目指す参加も「大いに意義有り」という舟山氏談から、今後の参加を前向きに検討する。

「農福連携による障がい者就労支援の取り組み」について県議9名の見学受入れ。事業の実際について、説明と見学を通して確認いただいた。

國分[父の夢]

利用者の外出機会を月1~2回で設けてきた。作業産品(パン・焼き菓子)はこれまで納め先として“いちい”様などをお願いしていたが、近隣の病院や介護施設から販売機会のお声掛けをいただき有難い。

5/21 福祉避難所開設訓練実施。5家族9名の参加あり。うち昨年続く2度目の参加家族は、かなり要領を得た印象でもあり、毎年の訓練の重要性を感じた。受付に関しては避難世帯数が増えたことで、煩雑であった。

コロナ関連では、職員の感染等はなし。県から事業者への抗原検査キット無料頒布案内あり。県による無料検査が6月いっぱいまで終了してしまうこともあり、申請したところ。

3月の地震により建物被災したが“福島県中小企業等グループ補助金”が適用となることが判り、支給申請している。

長澤[ILセンター]

去る16日、“ILセンター通常総会”を開催(於東部勤労者研修センター)滞りなくスムーズに終えることできた。孝浩さん多忙中のご出席に感謝する。

「こすもす」次号にはこの総会の報告を盛り込む。7月には皆様のお手元に届くかと思う。ご一読いただきたい。

岡崎[おおぞらの夢]

6月になり、支援学校実習生の受入れ、並びに保育学科生の実習生も“おおぞら”と“ニコ”それぞれ2名ずつの受入れあり。保育士志望の4名だったが、実習を経て障がい福祉の分野に興味を持つに至った方もいた。

活動は、引き続き少人数でのドライブを継続している。今月はアジサイを愛でに松川町の土合館公園に出かけた。

コロナ関連は4月の件以降は、休業等の場面はなし。しかし保育園などで胃腸炎が流行しているようで、それによる職員の休みが数例あった。

P.S. 今年度より「知的障害児者生活サポート協会」役員を務めている。そこで『生活サポート総合保障制度』の取り扱いがある。いわゆる保険と捉えてよい。生活上で他人に怪我が及んだとか、対物の損害を生じさせてしまったなどの場面で保障を受けられる制度。今後、発達障害の方も加入いただけるようにしていく。紹介・斡旋等ご検討いただきたい。

黒田[きらら]

6月にドライブを実施。昨年度実施のドライブが好評であり、気分転換に繋がるものとして外出系行事を取り入れ始めている。一方、そのような企画には参加が難しい方もおり、そういった方々のフォローをどうするかも要検討と感じている。

コロナ関連では、子供の接触経過から職員が出勤控えとなり、結果的に一部ご利用者に影響が及んだ場面があった。感染者の減少は底を打って増加に転ずる雰囲気もあり油断は禁物かとみている。

丸子[ろんど]

5/27にバーベキュー実施。生憎の雨だったが皆楽しめたということ。

6月になり、コロナ関連の営業自粛の事例発生。感染者数減少はあるものの依然続いている。軽症事例が多いが対策はこれまで同様行っている。

今月は防災講座ということで6/24出前講座受講。来月には県が推し進める8020運動に倣い“お口の健康講座”を開催予定。

カフェは、食材の値上げにより材料調達が困難を極めている。職員の家庭菜園からの調達や、もちずりワークさんの協力で何とか凌いでいる。

6/16総会終了新年度役員の改選もあった。

福島支援学校からの実習生受け入れや、利用前提の見学など利用登録は増す傾向だが、一方で企業からの請負作業が激減しており、利用者増に見合うサービス(活動提供?)に繋がられない。どうにか自主製品のアイデアをしばり、対応していく。

孝浩[旅行を考える会]

穴原温泉吉川屋さん 土湯温泉山水荘さんと2ヶ所のバイアフリー客室を見学し、使い勝手など確認させてもらった。素晴らしい部屋だった。当会としてもツアー企画などで後押し・力添えできればと考える。

秋の旅行を企画しようかと考えている。まずは県内旅行からの企画か。感染状況を踏まえた…という前提付きではあるが、各旅行会社バス会社さんとの協議となる。

ヨーロッパのコロナ対策は日本国内に比べかなり緩和されている地域もあるようだが、一方、ウクライナ問題により空路が閉ざされている状況であるため、EU圏への旅行企画は話が進めづらい。

だて支援学校の見学については、校長・教頭共に大歓迎してくれており“開かれた学校”を印象づけられた。

渡部[大萱荘]

利用者の外出や帰宅に関して少しずつ制限を緩和している。ただし例年8月に実施の法人の夏祭りは今年も中止と決定した。それぞれの施設ごとの工夫で利用者の皆さんに楽しんでいただく。

次回 第172回定例会;令和4年7月28日(木) ZOOM利用によるオンライン開催とする。